

地域に寄りそい歩み続けて

日吉台新聞

日吉台新聞創刊5周年



三日月大造
滋賀県知事

知事、市長からお祝いのメッセージ

学区の地域コミュニティ紙として親しまれてきた日吉台新聞は、令和2年12月号で創刊5周年、60号の記念紙の発行となりました。節目の年を迎えたのを機にこの日吉台新聞、より一層日吉台地域に寄り添い、学区住民に役立つコミュニティ新聞づくりを目指したいと考えています。創刊5周年にあわせ日吉台出身の三日月大造・滋賀県知事、今年1月、就任した佐藤健司・大津市長からお祝いのメッセージが届きました。紙面で紹介します。



佐藤 健司 市長
大津 健司

大津市長

佐藤 健司

日吉台新聞の創刊5周年、そして節目となる60号発行を迎えられますこと、心よりお慶び申し上げます。

この日吉台新聞を通じて地域の絆が深まるだけでなく、地域の課題を共有し、力を合わせて解決することで、日吉台学区のより良い街づくりにつながるものと確信しています。これからも地域に

愛される広報紙として号を重ねられることを期待しております。

結びに、発行にご尽力いただいている日吉台学区まちづくりカンパニー様の益々のご発展と日吉台学区住民の皆様のご健勝、ご多幸を祈念し、お祝いの言葉とさせていただきます。

創刊5周年に寄せて

日吉台新聞編集長 野々口義信

日吉台新聞は、学区まちづくり協議会の活動の一環として発刊が決まったものです。半世紀にわたり、地方記者としての生業を終え退職、この地を終の棲家として移り住み活動がはじまったばかり、と思ひ提案、同意が

得られ発行が決まったものです。2015年夏ごろのことでした。

16年1月号での創刊が決まり、準備を進めるなか経験不足が行き手を遮りました。半世紀に及ぶ記者生活のすべてが外勤

記者。取材し、記事執筆はできても見出しのつけ方、記事の割り振り等、紙面レイアウトの編集は全くのド素人でした。紙面編集の編集ソフトを手に入れ、試行錯誤のすえようやく発刊できたのが16年(平成28年)1月1日発行の創刊号の紙面です。今、改めて創刊号の紙面を見ていますが、はずかしい限りの紙面レイアウトです。

創刊5周年
記念号

日吉台学区
個人情報保護方針
取り扱い文書

つながる安心

お出掛けの際は
スマホ・携帯を持ちましょう



「毎月1回の発行。日吉台だけで記事が埋まりますか」。紙面づくりをしていて学区内外の人からこんな質問をよく受けることがあります。「人が住み、動いている。それが記事になります」と答えてきました。学区ではこの5年間さまざまなニュース、人の動きがあ

日吉台新聞創刊号で私は「日吉台のまちの再生と活性化に役立ちたい」と編集長として、あいさつ文を寄せています。6年目に入るにあたり創刊号に書いた「日吉台のまちづくりに役立つ新聞」を肝に銘じ、引き続き住民に寄り添う新聞づくりを目指す決意であります。

止むなく本年8月号を休刊、8月、9月の合併号としての発行になりました。痛恨の極みであります。



安易に猫にエサをやらしないで!

2匹の成猫から1年で20匹に増える繁殖力があるとされています

エサやりと飼育管理

はセットで行ってください



お年寄りのため心のこもったお弁当づくりをするふれあい給食のボランティア調理員メンバー

学区の独居老人宅へ心こもったお弁当 コロナ禍で中断、給食を再開

ふれあい給食

学区社会福祉協議会

学区の独居老人に心のこもった手作り弁当を届ける学区社会福祉協議会のふれあい給食。新型コロナウイルス禍で今年3月から給食を中断していたが、11月10日、9カ月ぶりに活動を再開、日吉台市民センター調理室で、社協、福祉委員らボランティアの調理者が季節のお弁当づくりに腕をふるっていた。ふれあい給食は、学区社会福祉協議会が平成2年4月に始めた事業。毎

月第2火曜日、学区の75歳以上の一人暮らしの老人にお弁当をつくり自宅へ届けている。給食を始めてからピーク時には、利用者が60人を超えていたが、現在は28人の独居老人に配食している。給食サービスは、学区社協ふれあい給食部(川越節子部長)が担当。社協、福祉委員、健康推進員、ボランティアら27人の調理者が3班に分かれて月代わりに交代で行い、調理日前日に献立を考え、食材の買い出しを行っている。今年は、新型コロナウイルス禍

で3月から10月まで給食活動を中断。再開した11月の給食の献立は、「秋のふきよせごはん」「生たらの生姜風味煮つけ」「里いものみじあんかけ」「いためなます」「ブロッコリーのさけまぶし」「柿きんとん」。作り上げた弁当は、その日のお昼までに配食担当が利用者宅へ配達した。お弁当づくりで気を遣うことについて尋ねるとふれあい給食部長の川越節子さんは「季節を感じる食材を使用、生ものをさけ食中毒には細心の注意を払っています」と話していた。

秋空に響く打球音

老ク連中北部ブロックグラウンドゴルフ大会



青空の下、熱戦を繰り広げる参加者たち

市老人クラブ連合会中北部ブロックグラウンドゴルフ大会が11月16日、大津市坂本の坂本市民運動広場で開催、青空がひらけ初冬にしてはめずらしく暖かいグラウンドには、参加者の歓声と乾いた打球音が響いていた。大会には、中北部ブロック加盟の雄琴、日吉台、坂本、唐崎の4老人クラブ連合会から男女合わせて126人の選手が参加。今年は、新型コロナウイルス禍でイベント自粛や行事中止が相次ぎ、外出やスポーツ大会への出場を控えていた人も多かったが、好天続きで久しぶりの大会とあって参加者数は例年に比べ大幅に増加した。

老人クラブ育成功労者に岡崎さん 県老人クラブ連合会長表彰



岡崎 一郎 さん

長年にわたり老人クラブの育成や優れた活動に功績があったとして、日吉台1丁目、元日吉台学区老人クラブ連合会長、岡崎一郎さん(86)が、11月17日草津市の県立長寿社会福祉センターで開かれた第59回滋賀県老人クラブ大会で、県老人クラブ連合会会長表彰を受けた。岡崎さんは、地元の日

吉台1丁目の老人会の平石クラブ会長、日吉台学区老人クラブ連合会長、大津市老人クラブ連合会

玄関灯・門灯 点灯にご協力ください!

- ・ 帰宅時も明るくて安心
- ・ 泥棒に狙われにくい街づくり



電気代は、LED電球(40W電球相当)の場合1か月60円程度、20W蛍光灯の場合1か月140円程度です。

副会長などを歴任、老人クラブの育成指導に努め、各クラブの会員増、クラブ活性化のため「一人一役運動」を展開するなど新しい事業を多数実現、老人のひきこもり予防に積極的に取り組んだ。また、平成18年から平成24年度には、大津市老人クラブの広報、会報部会員として会報の発行に尽力した。

困ります!そのオシッコ!!

マナーを守りましょう!



犬のトイレは適切な場所で!

※ 犬の散歩の際は、フン尿の始末ができる用意(ビニール袋、水入りペットボトル)をしましょう。

大津市動物愛護センター

た打球音が響いていた。大会には、中北部ブロック加盟の雄琴、日吉台、坂本、唐崎の4老人クラブ連合会から男女合わせて126人の選手が参加。今年は、新型コロナウイルス禍でイベント自粛や行事中止が相次ぎ、外出やスポーツ大会への出場を控えていた人も多かったが、好天続きで久しぶりの大会とあって参加者数は例年に比べ大幅に増加した。

大会は、参加者が増加したため16ホール2ラウンドの当初の予定を16ホール1ラウンドのプレーに変更した。参加者らは、グラウンドいっぱいに広がり、設定されたコースをクラブを手に巡回、男子は唐崎の田村幹夫さんがスコア35、ホールインワン数2で、女子も唐崎の野田紀美子さんがスコア33、ホールインワン数2でそれぞれ優勝した。